

## 優科豪馬橡膠有限公司 CSRレポート

**事業内容:** 中国エリアのタイヤ、MB製品生産会社6社、販売会社・支社全9社の経営管理、中国プロジェクト投資管理

**従業員数:** 54人(2012年12月現在、Y-CH社員33人、YCTC社員21人)

**所在地:** 中国上海市長寧区虹橋路1452号古北国際財富中心10階

**相談・苦情などの受付窓口:**

総合管理部 張芬 TEL: +86 021-32091717\*1604 FAX: +86 021-61671816

メールアドレス: f-zhang@yokohamarubber-china.cn

### 社長ご挨拶



張芬

優科豪馬ゴム有限公司は、2005年11月に横浜ゴム株式会社の100%出資により設立されました。当社は、タイヤやゴム製品に関する6つの生産会社、販売会社2社と支社を含む全9社に対する経営管理および中国でのプロジェクト投資等を管理しています。当社はこれまでに、中国で4億元以上の投資を実行しており、今後も事業をさらに順次拡大していく予定です。優科豪馬ゴム有限公司および傘下の子会社は、中期経営計画「グランドデザイン100(GD100)」

の基本方針のひとつである「トップレベルの環境貢献企業になる」というコンセプトを基に、中国でさまざまな環境保護活動を行っています。2008年から2012年まで、優科豪馬ゴム有限公司は中国の杭州、蘇州、山東の各生産子会社で「千年の杜」という植樹祭を数回開催し、2012年までに中国で植えた木は合計38,000本以上となりました。また、生産中に排出される廃棄物を減らすため、各工場で「ゼロエミッション」プ

ロジェクトを展開しており、特に杭州タイヤ生産会社では太陽エネルギー発電システムも導入しています。2011年年末までに全ての生産会社で「ゼロエミッション」を達成しております。

そのほかにも、2011年から当社は「麗江老君山河源村の持続可能な発展および環境保護プロジェクト」への協賛を始め、環境保護をテーマとする少数民族の経済自立支援活動を通じて、現地の自然生態保護と地域の経済発展とのバランス取りながら、住民の持続可能な経済発展を求めることに協力しております。この活動を通じ、現在までに30百万㎡以上の森林が保護されました。2013年、現地の自然生態産業の発展をさらに促進するため、われわれは現地に農産品加工設備を寄付いたします。優科豪馬ゴム有限公司はこれからも継続して、グリーン公益環境保護を支援するだけでなく、商品の開発生産から各社員が従事する業務に至るまで、環境保護という理念を考慮した上で、企業の活動を展開します。社会から信頼される正真正銘の「トップレベルの環境貢献企業になる」ための努力を続けてまいります。

### 環境経営の推進

#### 麗江老君山河源村の持続可能な発展および環境保護プロジェクト

##### ■プロジェクトの起源および成果

麗江老君山河源村の持続可能な発展および環境保護プロジェクト(下記略称「老君山環境保護プロジェクト」)は北京三生環境および発展研究院が2010年に始めた自然生態保護プロジェクトです。昔からよく提唱されていた「人間の利益」を犠牲にする古い環境保護プロジェクトとは違い、三生が提出した当プロジェクトのコンセプトは、環境保護と村に住む住民間の矛盾をうまく解決し、環境保護と経済発展のバランスを保ちつつ、村の持続可能な発展を実現することでした。それにより、村に住む住民が主体となり、周辺地域の環境を保護しながら、利益ももたらします。

「緑の公益」という環境保護活動を常に重視している優科豪馬ゴム有限公司がこの環境保護プロジェクトとコンセプトに賛同し、老君山自然生態環境保護プロジェクトへの協賛を始めました。

##### 1. 「村バンク」

現地住民の経済活動を促進するため、2011年に企業から支援資金を提供し、河源村で「村バンク」を設立しました。「村バンク」は生態保護に積極的に協力すると約束してくれる住民を対象として、返済期間1年の条件で無利息の資金を貸し付けます。住民は借りた資金で経済活

動を行い、環境破壊の活動を停止します。しかし、住民が約束違反して、環境破壊な事をした場合、資金の貸し付け資格は消失します。それにより経済発展と環境保護を相互に制約することが可能になります。「村バンク」の設立は「住民自然保護地域」の確立に促進し、河源村は今ですでに12個の「住民自然保護地域」が確立し、有効な森林保護面積は30,246,681㎡にも及んでいます。



2012年「村バンク」の借金返済現場



## 環境経営の推進

### 2. 自然生態産業協同組合

葉草、野生菌類、野生蜂など現地豊富な自然資源を有効に利用するため、2011年5月下旬に、老君山河源自然生態産業協同組合が設立され、農作物の栽培研修と他の地域への栽培技術見学を数度実施しました。

### 3. 「生態助学（教育支援）」

2012年7月に、優科豪馬ゴム有限会社は「優科豪馬生態助学計画（教育支援）」を始めました。住民の収入源は森の伐採を経済作物に変更してから、経済作物の栽培周期が長く、一部の家庭は子供の教育経費が支払えなくなり、盗み伐採する事件がいくつか発生しました。盗み伐採事件を防ぎ、持続的に環境保護をするため、積極的に環境保護に協力してくれている世帯を選定し、優科豪馬ゴム有限会社が初期として15世帯を援助することになりました。



2012年生態助学（教育支援）の寄贈現場

### 農産物加工産業の援助計画

2013年に二つ新しい自然生態産業プロジェクトを始めました。今年の新プロジェクトを応援するため、優科豪馬ゴム有限会社は「農産品加工産業協賛プロジェクト」を計画しています。現地の経済発展活動をさらに促進するため、優科豪馬は農産品の加工設備を寄贈します。また、2011年8月からボランティアを募集し、このプロジェクトにより社会人の育成も強化する予定です。



## ステークホルダーコミュニケーション

### 「千年の杜」プロジェクト

蘇州優科豪馬タイヤ有限公司では2012年10月に第一期の植樹祭りが開催され、社員、社員家族、現地環境保護局役人を含む200人以上が参加し、工場内で5,000本を植樹しました。地域環境の環境保護意識を高め、人間と自然、そして工場と地域が共に生きる「永遠の杜」を作ることを目的とし、2013年も「千年の杜」プロジェクトを中国で継続していきます。



植樹についての説明風景



従業員による植樹



## コーポレートガバナンスとコンプライアンス

### コンプライアンス教育

#### 1. 《契約締結規範の指導》研修

実施時間：2011年8月

場所：社内

参加社員：Y-CH各部門およびCTS Y企画部、物流部、販売部などの従業員

研修内容：契約締結中の内容規範および関連のリスク予防

#### 2. コンプライアンス研修

実施時間：2013年7月

場所：社内

参加社員：CTS Y販促課長補佐以上の従業員

研修内容：仕事にかかわる法律法規の検討（例えば、不正競争、商業賄賂の防止、着服など）